



西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

1月号



指導事項を明確にした小学校国語科の授業づくり(1月)

小学校算数
新学習指導要領全面実施に向けての移行措置

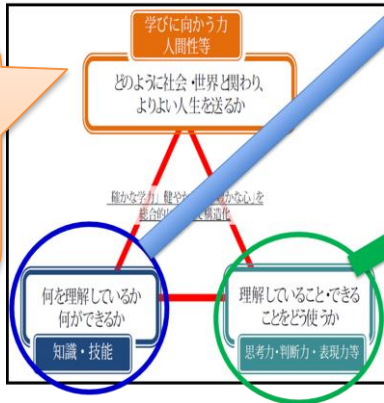
特別支援教育ほっと通信
「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の
位置づけの可視化例

新学習指導要領全面実施に向けて

国語科の「内容」ってどう変わるの？

国語科の「内容」は、資質・能力の3つの柱に基づいて、**〔知識及び技能〕**、**〔思考力、判断力、表現力等〕**の2つの内容のまとまりに整理されました。

「学びに向かう力 人間性等」の内容については、教科及び学年等の目標においてまとめて示されています。



〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項 **(新設)**
- (3) 我が国の言語文化に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕

- (1) 指導事項
 - 「A 話すこと・聞くこと」
 - 「B 書くこと」
 - 「C 読むこと」
- (2) 言語活動例

相互に関連し合いながら育成 Check!!

言葉の特徴や使い方などの**〔知識及び技能〕**は、個別の事実的な知識のみでなく、**国語で理解したり表現したりする様々な場面の中で生きて働く力**として身に付けることが大切です。そのため、**〔知識及び技能〕**と**〔思考力、判断力、表現力等〕**は、**相互に関連し合いながら育成される必要があります。**

相互に関連し合うとは？

Check!!

2年:「おもちゃ教室」をひらこう(「A 話すこと・聞くこと」)のイメージ(例)

〔知識及び技能〕

- 言葉の働き 文や文章 語彙
- 言葉遣い 表現の技法
- 情報の扱い方 音読 読書
- 言葉の由来や変化 など

〔思考力、判断力、表現力等〕

- 誰に(相手) 何のために(目的)
- 何を(内容)

相互に関連し合いながら育成

言葉や表現のよさを検証し、日常生活において活用する

新しい言葉や表現を知る

正確に・適切に使えるようにする

意識して話す

日記や作文に積極的に取り入れる

言語活動の中で使う

ヨットカーの作り方を1年生に説明する

最も適切な言葉や表現を選ぶ

うまく伝わらなかった

うまく伝わった

途中の順序が分からなく、よほど丁寧にね。

「はじめに」「つぎに」という順番の言葉を入れてみようか。

質と量を向上させる

言葉や表現のよさを検証し、日常生活において活用する

「伝わらない」時こそ学びのチャンスです!

「相手にうまく伝わらなかった」という実感は、子供が新しい知識及び技能を獲得したり、より適切な表現方法を選択したりしようとする必然性につながります。言語活動をやって終わりではなく、「**正確に・適切に相手に伝わったかどうか**」を基に評価し、次の言語活動や日常生活につないでいくことが大切です。

現行の学習指導要領

第1学年	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> A 数と計算 ・数の概念 (整数, 小数, 分数) ・計算の意味 ・加法, 減法 ・乗法, 除法 ・概数と見積り </div>	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> B 量と測定 ・量の概念 (長さ, 重さなど) ・量の大きさの比較 ・量の単位 ・量の測定 </div>	<div style="border: 1px dashed yellow; padding: 5px;"> C 図形 ・図形の概念 (平面図形, 立体図形) ・図形の構成・分解 ・図形の性質 </div>	<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;"> D 数量関係 関数の考え 資料の整理 </div>
第2学年				
第3学年				
第4学年				
第5学年				
第6学年				

新学習指導要領

第1学年	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> A 数と計算 ・数の概念 (整数, 小数, 分数) ・計算の意味 ・加法, 減法 ・乗法, 除法 ・概数と見積り [D数量関係→] ・式の表現と読み ・四則に関して成り立つ性質 </div>	<div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px;"> B 図形 ・図形の概念 (平面図形, 立体図形) ・図形の構成・分解 ・図形の性質 [B量と測定→] ・角 ・図形の計量 (面積・体積) </div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> C 測定 ・量の概念 (長さ, 重さなど) ・量の大きさの比較 ・量の単位 ・量の測定 </div>	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> D データの活用 [B量と測定→] ・測定値の平均 [D数量関係→] ・表, グラフ </div>
第2学年				
第3学年				
第4学年				
第5学年				
第6学年				

内容の系統性を見直して
領域及び
内容の構成が
整理されます!

指導内容及び履修状況の再確認を!

2019年度 移行措置

第3学年	○接頭語【キロ(k)やミリ(m)】についても触れる
第4学年	☆ ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知る
	○面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察する
第5学年	☆ 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知る
	○体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察する
	☆速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求める
※「分数×整数」、「分数÷整数」は翌年の6年生で学習するため、今年度は省略	

小学校での新学習指導要領全面実施まで、残り3ヶ月となりました。

算数科においては、昨年度から今年度にかけて、移行措置対応が必要です。新学習指導要領における学習内容の移行に伴うものです。移行措置の内容は、
☆補助教材で対応が可能なもの
○関係する単元で教科書をもとに内容を扱うもの
があります。全ての児童が、今年度内に必ず履修し、次の学年へ進級できるように、教科書会社のホームページや補助教材で、移行措置の学習内容や留意点を再度確認しましょう。

教科書会社から配付された補助教材で対応可能な学習内容





特別支援教育ほっと通信



令和2年1月
西部教育局

「個別の教育支援計画」と
「個別の指導計画」の位置づけの可視化例

「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と活用
編集：全国特別支援教育推進連盟より引用（一部加工）

個別の教育支援計画

本人 保護者 学校 関係機関

【作成目的】 長期的な視点で乳児期から学校卒業後までを通じて一貫して的確な支援を行うため

3年後の目指す姿を
関係者で共有

- ・将来の生活に対する本人、保護者の願い
- ・関係機関で目指す姿
- ・現在の社会参加の状況
- ・**学校で身に付けてほしい力**

作成目的や活用方法の違いを明確にすることで、
きめ細かな指導や支援を実現するための
適切な計画づくりにつながります。

作成・活用のシステム構築には、
すべての教師と関係者の理解と協力が
必要です。

評価

改善

1年後の到達水準

各教科等の目標・内容
各教科等の学習評価

手だて・配慮

自立活動の目標・内容
自立活動の学習評価

個別の指導計画

【作成目的】 実態に応じたきめ細かな指導を行うため

教育課程を踏まえ、
どの教科等の目標・内容か…

実態把握

特別支援
学級担任

通級指導
教室担任

特別支援
教育主任

学級
担任

教科
担任

教務
主任

【各教科等】
①学習指導要領
②学習上の困難

【自立活動】
6区分27項目

諸検査等の結果

課題関連
の整理

過去の個別
指導計画等
を活用

学びの
履歴を
把握

